
7号機低圧タービン第14段点検状況 (続報)

平成20年4月10日
東京電力株式会社
柏崎刈羽原子力発電所

低圧タービン(A)(B)(C)第14段動翼フォーク部の点検結果

- ・低圧タービン(A)(B)(C)第14段(タービン側・発電機側)の全ての動翼(各152枚、計912枚)を取り外し、フォーク部について外観目視点検を実施した結果、2枚(低圧タービン(B)(C)に各1枚)に折損を確認した。
- ・折損が確認された翼2枚を除く、計910枚の動翼フォーク部について非破壊検査*を実施した結果、合計90枚に指示模様を確認した。

* 非破壊検査とは、材料表面の微小な傷などを確認する検査手法。
今回の点検では「磁粉探傷検査」および一部で「浸透探傷検査」を実施。

対象機器		折損が確認された翼	指示模様が確認された翼 (折損が確認された翼を除く)
低圧タービン(A) 第14段	タービン側	0枚	1枚
	発電機側	0枚	0枚
低圧タービン(B) 第14段	タービン側	1枚	50枚
	発電機側	0枚	22枚
低圧タービン(C) 第14段	タービン側	1枚	17枚
	発電機側	0枚	0枚
合計		2枚	90枚

：お知らせ済み箇所

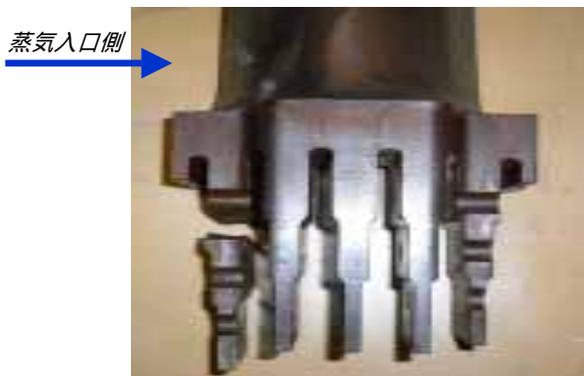
低圧タービン第14段動翼フォーク部点検状況（折損部および指示模様）



低圧タービン(C)第14段(タービン側)動翼フォーク部
損傷箇所(119枚目)(お知らせ済み)



磁粉探傷検査による指示模様の例(1)
(低圧タービン(C)第14段(タービン側)動翼(128枚目)フォーク部)(お知らせ済み)



低圧タービン(B)第14段(タービン側)動翼フォーク部
損傷箇所(80枚目)(お知らせ済み)



磁粉探傷検査による指示模様の例(2)
(低圧タービン(B)第14段(タービン側)動翼(20枚目)フォーク部)

低圧タービン(A)(B)(C)第14段ロータフォーク取付部の点検について

- ・低圧タービン(A)(B)(C)第14段動翼フォーク部の一部に折損ならびに非破壊検査による指示模様が確認されたことを踏まえ、平成20年4月10日よりロータフォーク取付部についても非破壊検査(磁粉探傷検査)を実施し、損傷の有無を確認します。
- ・調査結果については、とりまとまり次第、週報時にお知らせします。

